



遠大勵志

吹奏楽部東北大会

惜しくも銀賞！

【8/26岩手日報記事より】



豊かな音色を奏でる黒沢尻北

全日本吹奏楽コンクール第61回東北大会(東北吹奏楽連盟など主催)は25日、青森市のリンクステーションホール青森で開幕し、高校の部を行った。東北6県の代表24校が課題曲と自由曲を演奏。県勢は盛岡三と黒沢尻北が銀賞、専大北上と一関二は銅賞でいずれも全国大会出場はならなかった。今年創部60周年の黒沢尻北吹奏楽部は、自由曲でフェルラン作曲の「交響曲第2番『キリストの受難』より」を演奏した。キリストの生涯を描いた楽曲のストーリー性を意識しつつ、美しい旋律を響かせた。鷹薮莉子部長(3年)は「金賞を目指していたので悔しいが、曲の情景をイメージしながら、楽しんで100%の演奏ができた」と振り返った。金賞受賞校のうち、磐城、湯本(福島)、聖ウルスラ学院英智(宮城)の3校が東北代表に選ばれた。

私は演奏を聴きに行くことはできませんでしたが、部員全員が東北大会金賞を目指して、一心に演奏に打ち込んだであろうことは容易に想像ができます。東北大会銀賞も立派です。みなさんは本当によく頑張ったと思います。特に3年生のみなさんはお疲れ様でした。後輩達は、皆さんの想いをしっかりと受け継いで、さらに頑張ってくれるものと確信しています。

音楽部 優良賞

第70回全日本合唱コンクール県大会

【8/26朝日新聞記事より】

第70回全日本合唱コンクール県大会が25日、盛岡市の県民会館で始まった。この日は高校の部に29団体が出場。金賞に6校、銀賞に4校が選ばれた。得点順では初めて盛岡四(混声)が頂点に立った。10団体は9月28日から宮城県の多賀城市文化センターで開かれる東北支部大会に出場する。

(金賞) 不来方、盛岡二、一関一・付属中、盛岡一、

盛岡四(混声)、盛岡四(女声)

(銀賞) 盛岡三、岩手女子、宮古、水沢

(銅賞) 北上翔南、盛岡白百合学園、福岡、盛岡誠桜、

盛岡大付・盛岡市立、盛岡北、一関二、一関修紅

(優良賞) 久慈、黒沢尻北、大東、花巻北、軽米、釜石、

千厩、遠野、盛岡南、盛岡中央

本校の音楽部の歴史の中では、40人近い部員がいた時期もあります。ここ数年の活動は少ない人数のようですが、部員のみなさんは本当によく頑張っていて活動し、合唱の灯を消さないように頑張ってくれています。3年生で唯一の部員の斎藤郁さん(3-2)は大変なことたくさんあったでしょうが、3年間頑張っていて活動してくれました。お疲れ様でした。

陸上部 第45回東北総合体育大会結果

【8/26、27岩手日報記事より】

陸上は、ひとめぼれスタジアム宮城で行われた。

【男子】

★1600mリレー 第8位 黒沢尻北高 3分25秒06

(松尾栄太、菊地琳太郎、高杉時史、田口博敏)

【女子】

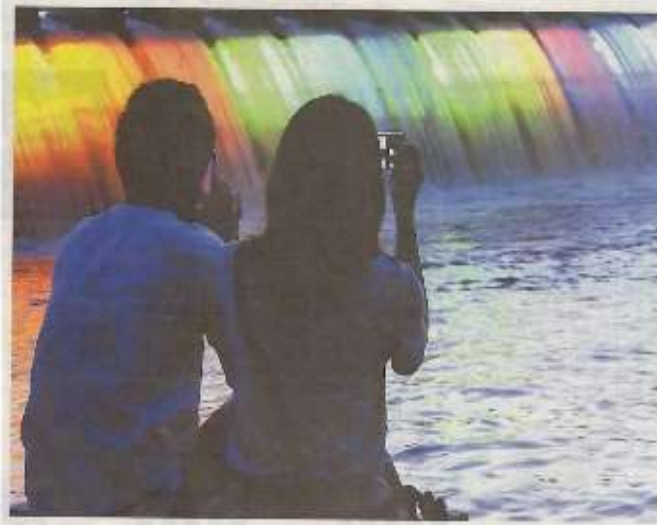
★100m 第6位 大山里花 12秒35

★棒高跳び 第6位 金子遥果 3m20

★走り高跳び 第5位 八重樫澄佳 1m65

日報キャビネコンテスト達 下才子先生、第4席

【8/26岩手日報記事より】



4席 達下 才子 (奥州市)

二人の記憶に

◇ニコンD300S 18-300mm
◇f9 10分の1秒

日報キャビネコンテスト8月の自由課題には154点の応募があり、岩手日報社編集局で審査した結果、5点の入賞が決まった。

選評 8月も猛暑が続いた県内。自由課題だった日報キャビネコンテストは、暑さの中にひとときの涼を感じさせる作品が集まった。

【4席】西和賀町の砂防ダムライトアップをスマートフォンで撮影する2人。肩が軽く触れあい、仲むつまじさを感じられる。薄暮の光でうまくシルエットを出しながら、滝や水面の彩りを鮮やかに表現した。

154点の応募の中からの第4席。本当に素敵な写真ですね。滝のライトアップが七色で美しいと思いました。達下先生のどうしたらいい写真が撮れるだろうかという飽くなき探究心・向上心には本当に頭が下がります。9月の日報キャビネ9月の課題は「秋風」とありました。写真部のみなさんのこれからの作品も大いに楽しみにしています。



自転車ですま ホ・死亡事故

8月25日の岩手日報に、茨城県つくば市で今年6月、歩行者の男性がマウンテンバイクにはねられて死亡する事故があり、スマートフォンを見ながらの運転だったとして茨城県警が重過失致死の疑いで男子大学生(19)を書類送検していた、という記事が載っていた。男子大学生はスマホを見ながら無灯火で走行していたという。

「ながらスマホ」の自転車事故では、川崎市でも昨年12月に高齢の女性をはねて死亡させたとして、当時大学生だった女性が重過失致死罪で起訴されたケースがありました。この報道を聞いたときには



驚きしかありませんでした。この女子大学生は、自転車に乗るときに、イヤホンをして、右手には飲み物、左手にはスマホを持っていたのです。ここまで自分で危険な状況を作り出していること自体、危機意識の欠如だと思います。高校生のみなさんの交通手段はほとんどが自転車です。「自転車も車だ」という意識をもって、安全な運転を是非ともお願いします。

- ・自転車に乗るとき、イヤホンはしない
(周囲の音の遮断は危険)
- ・スマホ等を操作しない
(前方を含む状況の変化に対応できない)

少しの時間もスマホを手放せない状況の人に危うさを感じます(歩行者も同様です)。



加害者・被害者にならないための自衛と心構えは大事です。

気をつけましょう！